

# 会報

2017年 9月号 No. 126

## Setosi Tennis Kyokai

Since 1973

←協会ロゴ兼エンブレム

2016年7月制定。協会員・加藤隆久氏(運管理事)の作。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボールを追って流そう爽やかな汗」を呼びかける。「1973」は協会創立年。



早実・清宮

広陵・中村

女王揺るがず——無敵の4連覇を達成した浦野

瀬戸市選手権 男子初優勝を遂げ、笑顔の黒岩



### 市選手権

# 黒岩

ai場所

# が初制覇

## 女子は浦野4連覇

### 同僚対決・若い和崎を退ける

シングルス王者を争う第28回・瀬戸市選手権は9月3日(日)午前9時から市民公園A・Bで開催。64人参加の男子は黒岩竜二(aiのある場所)が同僚の和崎省伍を6-1で下して初優勝。15人出場の女子は浦野優子(JUEGO)が奪冠を狙う柴山千沙子(丸新)に6-4で競り勝ち4連覇を達成した。(2面へ続く)

#### <第28回 瀬戸市選手権成績>

[男子]	[女子]
優勝=黒岩 竜二 (aiのある場所)	優勝=浦野 優子 (JUEGO)
準優勝=和崎 省伍 (aiのある場所)	準優勝=柴山千沙子 (丸新)
第3位=中村 恒 (aiのある場所)	第3位=飛山るみ子 (ストロベリフィールズ)
下林 直人 (楽しいが一番)	上原美与子 (祖東クラブ)

#### 「ai場所」勢上位独占

男子は先着64人の募集枠。締め切りを前に満杯の盛況。準決勝で同僚の左腕・中村に

快勝した黒岩と、技の下林に完勝した和崎の決勝。黒岩がリードを広げ、和崎の粘りを振り切つて6-1で快勝し、初制覇。黒岩は昨秋季大会に続く2個目の

#### タイトル。

3決は大接戦。強打の中村が下林に7-5で競り勝った。

◆V黒岩の話「足がもつかどうか、勝負所まで残した。粘られるのは嫌だったが、大事なポイントを取れてよかった。相手に強打がない分だけ助かった。会報、楽しみです」

#### 浦野 機敏な戦術転換

女子は浦野と柴山の決勝。序盤、ネットに出る浦野に柴山がパスを決めて2-1と先行。浦野はラリー戦に戦術転換。柴山のミス誘って中盤に逆転、そのまま押し切った。

[男子]	[女子]
高宏仁	子佳子
野真和	淳沙
比田士	淳沙
日太富	千佳
05	06
06	07
07	08
08	09
09	10
10	11
11	12
12	13
13	14
14	15
15	16
16	17

「市選手権 近年の覇者」

**今期の行事日程**

- ★第12回 100歳ダブルス大会
 

9月16日(土)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。市内在住・在勤者または協会員。ダブルス。先着48組。今年末年齢で男子ペアは計100歳以上、混合ペアは計90歳以上、女子ペアは計80歳以上。統合戦。リーグ戦ののち、各順位別トーナメント予定。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。賞品は1位トーナメント3位までのほか、今回から2位・3位グループ覇者にも授与。予備日=9月23日(土)。8月15日付け広報掲載。
- ★第11回 レディースチャレンジ大会
 

10月4日(水)。市民公園A。午前9時～午後1時頃。「レディースピギナー大会」を改称。ダブルス。市内在住・在勤者または協会員の女性。初級～中級レベル。上級者はご遠慮下さい。先着32組。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=9月16日まで。予備日=10月11日(水)。9月1日付け広報掲載。
- ★秋季大会
 

10月8日(日)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。市内在住・在勤者または協会員。ダブルス。男子1部・2部・壮年(50歳以上)、女子1部・2部・壮年(50歳以上)。先着計100組。学生は参加できません。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=9月20日まで。予備日=10月15日(日)。9月1日付け広報掲載。
- ★第7回 高校学年別大会
 

10月28日(土)、11月3日(祝)。市民公園A・B。午前7時～午後5時。瀬戸市近郊高校生。1、2年生別単複。参加費=1人800円。学校関係者に案内。予備日=11月4日(土)。
- ★壮年・レディース大会
 

11月26日(日)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。市内在住・在勤者または協会員。男子45歳以上、女子40歳以上の男女ダブルス。各先着32組。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=10月18日～11月8日。予備日=12月17日(日)。10月15日付け広報掲載。
- ★協会創立記念&総会
 

12月3日(日)。市民公園Aで午前9時～午後5時。途中、正午から午後1時まで体育館会議室で総会。往復はがきで案内・必ず返信を。雨天時、総会のみ行ないます。予備日なし。
- ★協会理事会&理事親睦大会
 

2018年2月11日(日)。午前11時～午後1時は体育館会議室で理事会。午後1時～午後5時はAコートで親睦ダブルス。往復はがきで案内・必ず返信を。雨天時は理事会のみ行ないます。予備日なし。
- ★2018年 春季テニス教室
 

18年3月4、11、18日の日曜3回。市民公園Aで午前9時～午後1時。市内在住・在勤者または協会員。参加費=1人4,500円。先着60人。受付=2月1日～28日。予備日=3月25日(日)。2月1日付け広報掲載。
- ★第33回 瀬戸地方高校生大会
 

3月21日(水)・22日(木)。市民公園A・B。午前7時～午後5時。近郊高校生男女別単複1の団体戦。参加費=1チーム4,000円。学校関係者に案内。予備日=3月23日(金)。

日中の暑さを避けたナイターテニス教室は8月5日、12日、19日、26日の土曜4回、市民公園Aで実施。今回の受講者数は小学生6人を含む38人。自己申告で初級、中級、上級の3クラスを選び、照明塔の下、熱心に練習に励んだ。

**照明下 球音高らかに**

初級はグリップ、スタンス、スイングの基本からストローク、ボールなどの基本技の習得、中級は基本技の球感と精度、得の反復・組み合わせ、上級はダブルスを想定した実践的な練習が主メニュー。リピーターや家族参加も多く、全員が技術向上をめざして快い汗を流した。



38人、熱く――8月26日に土曜4回を終えた「ナイター教室」

**9・10月の練習会**

- (市民公園A・ナイター)
- 9月6日(水) 19時～21時
- 13日(水) 19時～21時
- 16日(土) 17時～21時
- 20日(水) 19時～21時
- 10月4日(水) 19時～21時
- 11日(水) 19時～21時
- 14日(土) 17時～21時
- 21日(土) 17時～21時
- (今年最終ですよ)

**体育の日・審判講習会**

★北コート全4個面  
★10月9日(月・祝) 午前9時～午後1時 講習後、自由練習

**乙葉組優勝**

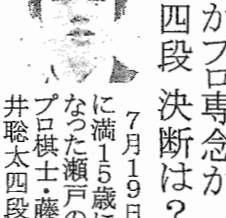


練習に励む加藤金次郎君

東海中日ジュニアU16以下女子複7月22日(日)で瀬戸市やまて坂の青木乙葉(誉高1年)が光崎(HTT)と組んで優勝した。決勝で三重7・5、南高の堤川本組に7・5、6・2のストレート勝ち。光崎は単も堤を6・1、6・2で圧倒し、単複2冠。

あお・まお 虫賀姉妹 この大会、12歳以下女子で一宮の双子の小学生・虫賀愛央(あお)、心央(まお)姉妹が活躍。姉妹で復讐を優勝。姉妹対決の単は姉が勝利。2冠。互いにライバル心むき出しの2人。今後注目だ。

**進学かプロ専念か**



藤井四段 決断は？

7月19日に満15歳になった瀬戸のプロ棋士藤井聡太四段。進学かプロ専念か迷っている。勝つほどに東京・大阪遠征が増え、学業との両立は至難。過去、羽生は高校進学したが出席日数不足。加藤一二三は早大進学の先例も。さて藤井君、決断の一手は？

**こちらゴルフ天才瀬戸っ子**

長根小1年・金次郎君 世界大会7位

出場127人。体のデカイ外国選手相手に初日3位の好位置。2日目5位に後退。最終日、果敢にVに挑んだが7位。5位までの表彰台を逃した。米滞在で一番難しかったのは？の問いには「ほんのり、トレイマークのイガグリ頭を掻く。父泉三さん(69歳)との約束は、始めるからには、しっかり。毎日練習。週末は早朝からラウンド。ドライバーも飛距離170ヤード。アプローチも得意。4歳上の兄と野球、相撲で鍛えた身体能力は高い。『バレーボールがすごくうれし。目標は世界1・USオープン。』将棋の藤井君同様、この驚異の瀬戸っ子を見守りたい。



右から準備勝の柴山、3位の飛山、上原



右から男子準Vの和崎、3位・中村、下林

**<男子戦績>**

高木 亘紀 (協会) 62  
高塚 敏夫 (ロング) 61  
高木 正則 (協会) 60  
山口 正明 (フリー) 60  
後藤 次将 (フリー) 63  
落合 輝久 (フリー) 76 (4)  
前 龍之介 (ai場所) 64  
柳 洋介 (NAS) 61  
黒岩 竜二 (ai場所) 60  
中垣 孝行 (ロング) 61  
酒井 将矢 (YTC) 63  
永田 幸平 (HNT) 61  
船間 崇大 (BEARS) 63  
岡野 敏春 (T・呑助) 61  
佐藤 純也 (NAS) 63  
富士 和仁 (T・愛牧) 75  
高木 順 (協会) 60  
日比野陸哉 (フリー) 60  
三浦 正光 (T・愛牧) 60  
加藤 文敏 (瀬戸信) 63  
竹内 裕紀 (やまさん) 60  
高橋 和幸 (フリー) 60  
樋口 剛央 (協会) 60  
中村 恒 (ai場所) 61  
久米 孝幸 (T・愛牧) 61  
大野 希 (HNT) 63  
磯村 和信 (T・B) 60  
森 康美 (瀬戸信) 75  
久野 高裕 (瀬戸信) 62  
瀧本 勝成 (フリー) 61  
浅野 高光 (OMN) 61  
岩成 洋平 (ロング) 61

**<女子戦績>**

八百山浩幸 (T・愛牧) 61  
洞川 和史 (T・呑助) 60  
中橋 昭二 (BRIO) 60  
菊池 唯史 (BEARS) 60  
藤田 隆博 (T・B) 61  
近藤 忍 (スプラッシュ) 60  
山上 剛 (ai場所) 61  
伊左治孝紀 (瀬戸信) 60  
山田 規貴 (フリー) 63  
松岡 良一 (瀬戸信) 61  
和崎 省伍 (ai場所) 62  
田中 整 (協会) 62  
鈴木 克史 (T・B) 61  
秋山 昌史 (NAS) 62  
瀧 洋一郎 (YTC) 60  
加藤 隆久 (協会) 61  
手島 晋治 (NAS) 60  
近藤 峰夫 (遊YOU) 76 (2)  
平野 欽也 (みずきTC) 61  
井出 直紀 (BEARS) 62  
浅井 貞孝 (瀬戸信) 76 (0)  
岩下 亮太 (T・愛牧) 63  
大脇 敬治 (ロング) 61  
梅本 寛 (FSP) 61  
田辺 (HNT) 76 (2)  
藤原 靖史 (フリー) 61  
野邊 誠嗣 (瀬戸信) 61  
伊藤 良樹 (協会) 63  
磯村 信芳 (T・B) 61  
服部 嘉雅 (協会) 61  
山崎 智夫 (STC) 61  
下林 直人 (楽し一番) 61

**準優勝II 和崎 省伍**

浦野 優子 (JUEGO) 61  
鈴木さよ子 (T・呑助) 64  
杉田彩花 (フリー) 61  
金光康子 (ういる) 63  
安田美菜 (BEARS) 61  
大脇千登世 (ロング) 62  
飛山のみ子 (ストロベリ) 61  
上原美与子 (祖東ク) 62  
加藤千里 (BEARS) 60  
小川 尋美 (協会) 61  
小島いづみ (ういる) 76 (4)  
大越三代子 (みずきTC) 60  
小西美波 (フリー) 62  
藤田由佳 (ういる) 61  
柴山千沙子 (丸新) 61

**浦野 優子**

浦野の話し「出て行くと散々抜かれて、やめまし。あとには後で我慢のラリ。チーちゃんのいいシットを浴びて危なかった。辛抱強くプレイした。」

準V・柴山「我慢が足りなかつた。大事なポイント早く欲しかった。今年は勝てるの気が出た。今年優勝したい。目標は、USオープン。グランドスラム。やる気は全ても。出たから仕方ないわね。」

**<3決>**

飛山 6-1 上原  
コンソレ優勝=藤田

**優勝だ!**

「優勝ですよ! 肩書きはちょっと違いますが、デカデカと載せて下さい! デカデカと載せて下さい! デカデカと載せて下さい!」と喜びの声をあげた男子コンソレ王者の田中整(ひとし、協会)。

本戦初戦で和崎に当たって砕けて裏街道決勝で前龍之介に6・2で快勝。多少、溜飲を下げた。

男子コンソレV・田中

**高木順、八百山瀬戸4冠お預け**

瀬戸4冠(市選手権、春季、秋季、市民大会)に王手をかけていた高木順と八百山浩幸は、ともに今大会制覇ならず。史上4人目のグランプリ達成は来年以降に持ち越しとなった。

過去の4冠達成者は菅野英男(3代目会長・故人)、富士和仁、加藤智之の3選手。市選手権を14年、15年と連覇している高木亘紀は秋季大会を残して王手をかけている。父子の先陣争いも興味深い。

高木 順  
八百山浩幸

A1=男子64人/女子32人 A2=瀬戸8勝2敗 A3=大坂なおみ

全英女子複で惜しくも決勝進出を逃した二宮組



# 二宮組 全英快進撃…準決勝で惜敗

## 機敏なボレー+強いストローク

「ライバル穂積・加藤組の今全豪4強が刺激になった」と二宮真琴(福本総業・全日本混成2連覇)と同じ1994年生まれ、23歳「あの2人に見えるなら私にもできる!」

5月末、芝で有利なフラットの低い滑るショットを持つボレー(チキ)に声を掛けた。二宮は157センチで機敏な動きの、小柄なストロークに強いボレーが互いに生きるいいコンビ。

準々決勝はクズネツオワ(ロシア)単8位・ムラデノビッチ(ロシア)単14位組。個々の実力は

# 旭對抗戦 6勝14敗 瀬戸大敗

◆両会長閉会あいさつ  
瀬戸・高木会長「瀬戸完敗旭乾杯しようか。どうしたか。記録的な大敗でした。敗因をしっかり分析して来年はアウェー旭・晴丘で必ず雪辱し、溜飲を下

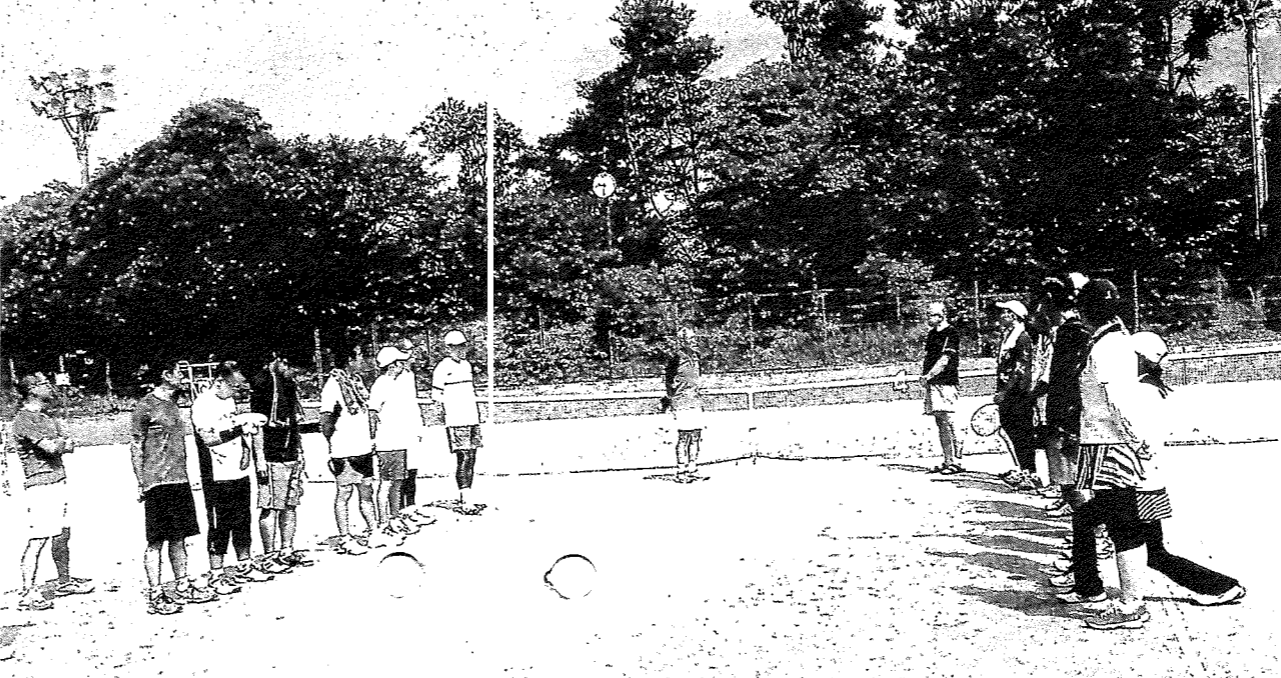
◆旭・庄原会長「今年は少数精鋭。会長、副会長がそろってケガで欠場すると、こんなにもチームが丸になるのかと驚かされました。こんな快勝は何年ぶりでしょうか。来年は晴丘で待っていますよ!」

## 1974年スタート

瀬戸・旭戦は1974年5月に第1回。会場は旭中学。以降、中断時期をはさみ、40年以上の歴史。勝敗よりも交流・親睦目的のダブルス団体戦。戦績は瀬戸リード。

近年の対戦成績

2000年	△21勝21敗
2001	○瀬戸23勝20敗
2002	○瀬戸23勝19敗
2003	<雨でお流れ>
2004	○瀬戸25勝14敗
2005	●瀬戸7勝9敗
2006	●瀬戸14勝22敗
2007	○瀬戸24勝15敗
2008	○瀬戸21勝18敗
2009	○瀬戸26勝21敗
2010	○瀬戸28勝22敗
2011	○瀬戸26勝23敗
2012	○瀬戸26勝24敗
2013	○瀬戸19勝16敗
2014	●瀬戸11勝15敗
2015	○瀬戸26勝20敗
2016	○瀬戸20勝13敗
2017	●瀬戸6勝14敗



## 「鮭弁当」効かず 食後ダツシユ不発

2時間経過。昼食前の正午ごろ、寒暖計は39度を示す。日陰でも36度。集中力を欠いたが、瀬戸は4勝9敗とさらに借金がかかる。

例年、会計が丹精こめて用意した弁当を振ると、なぜか俄然ギアアップするのが瀬戸の特徴。水分もたっぷり補給して、食後の猛追に期待があったが……

粒ぞろいの旭チームに対し、瀬戸の苦戦が続く。5-7、6-7の惜敗もあって、得意の「食後ダツシユ」は不発。逆に「ポイントナゲッター」が続出し、差を詰められない。さらに2時間。午後2時前、両軍の人数も徐々に減り、暑さもあって、選手の数も考慮して、計20戦を終えたところで打ち切り。恒例の最終戦「会長ペア対決」も今はないまま、旭に花を持たせてしまった。

3連勝をめざした瀬戸だったが、結果は屈辱的な大敗。午後2時には閉会。最終、互いに来年の晴丘での再会を約して散会。のち、全コートを開放。午後5時まで思いついた練習メニューをこなした。

## 来年はオムニの旭・晴丘コートで

オムニ化への改修が急がれている旭・晴丘コートは今年10月に5個面全面を完工する予定。旭連盟ではテニスコートを招いて完成を祝うという。

## 4時間20戦 開幕4戦・1勝3敗 不調の出足

40年以上の歴史を持つ「瀬戸市協会・尾張旭連盟対抗ダブルス団体戦」は8月13日(日)午前9時から市民公園Aで開催。男子複、女子複、混合複の通算成績を競った。瀬戸協会からは17人が参加。お盆の猛暑の中、チームの勝利のため熱く、暑い戦いを繰り広げたが3連勝ならず。通算6勝14敗の完敗。これで2000年以降の対戦成績は瀬戸の12勝4敗1分け(一流会)となった。

午前9時前から協会員らが続々とAコートへ結集。練習を始める。受付のあと開会式。両軍集合し、あいさつを交わして記念撮影。

9時45分、試合開始。開幕戦は男子複3試合、女子複1試合の計4戦。瀬戸は昨年とは逆に男子複をすべて落とし、1勝3敗。前途多難を思わせる苦しいスタート。



開幕戦の男子複、女子複に熱戦を繰り広げる両軍の選手。昨年は瀬戸が開幕6戦を5勝1敗で大きくリードしたが……

協会員17人  
お盆の熱闘

- 出場者
- 音順) 均 将裕和、久 隆峰高順、正和元太嘉剛
  - 瀬戸(五十子) 石川垣井村(旭) 藤田高木、中口本部
  - 瀬戸(五十子) 石川垣井村(旭) 藤田高木、中口本部
  - 瀬戸(五十子) 石川垣井村(旭) 藤田高木、中口本部

## 全英ジュニア男子複 堀江組4強ならず

ウイングランドジュニア女子単の本玉真唯(S・ONE)は3回戦でカナダ選手に敗退。男子単2回戦で第5シード清水悠太(兵庫甲英学院高)は米選手に、羽沢慎治(兵庫・甲英学院高)はオーストラリア選手に、ともに敗退。

男子複の堀江亨(日本紙推奨・関スポーツ塾)清水悠太組は8強入りしたが、準々決勝で米選手ニコロビッチ選手に6-1、3-6、2-6で逆転負けし、4強入りはならなかった。

昨年から始まったウイングランド車いす単で女子の第2シード・上地結衣(アイベックス)は準決勝

## クイズ3Q

Q1 シングルス瀬戸市選手権の募集枠は男子何人? 女子何人?  
Q2 瀬戸10年の対戦成績は近年の何勝何敗?  
Q3 全米女子、昨年覇者、ケルバーを破ったのは誰?

## 高校総体テニス

▽高校総体 愛知県選手権  
▽男子監督 宮尾英俊(名古屋)  
▽男子選手 高羽連、石樽元晴、鈴木悠太、宮本貴太郎、三上和馬(名古屋)、片山幸輝、景山太皇(名経大市野)  
▽女子監督 伊藤勝己(愛知啓成)  
▽女子選手 阿部宏美、野々山風花、加藤早織、安井愛乃、川出莉子(愛知啓成)、伊藤摩紘、伊藤日和(和泉女子学園)

## 団体戦8強 単・阿部3位

男子・名古屋3回戦負け  
東北でのインターハイは8月会津、団体戦(複)単2男子で名古屋(鈴木三上組、高羽、石樽)は2回戦で金沢(石川)を2-1で下したが、3回戦で光泉(滋賀)に複8-9、単6-1の打ち切り(0-2)で惜敗。

女子の愛知啓成(安井、川出組、阿部、野々山)は2回戦で鳳凰(鹿兒島)に、3回戦で京都外大西に競り勝って8強入り。準々決勝、岡山学芸館に複を落とし、阿部が平田(単優勝)に0-6、6-0、7-5で逆転辛勝。野々山が4-6、4-6で敗れ、惜しくも4強ならず。

男子団体は菊地裕太を擁する相生学院(兵庫)が秀明八千代(千葉)に完勝して2年連続3度目V。女子は四日市南が松商学園(長野)を下し初V。

## 男子・菊地が3冠

男子単の昇勢は高羽、石樽、片山、影山の4選手。影山は1回戦、高羽は2回戦で惜敗。石樽と片山が3回戦へ進出したがともに3-1で敗退。決勝は菊地裕太(相生学院)が田口涼太郎(大分舞鶴)を6-1、6-1、1-6で下して初優勝。菊地は平川輝人と組んだ複も制し、団体・単の3冠を達成。男子の3冠は一昨年の後藤翔太郎(四日市工)以来。

男子複の愛知勢は三上・鈴木組、高羽・石樽組が初戦を突破したが、ともに2回戦で敗退した。

## 女子複は沖繩尚学ペア

女子単には伊藤、野々山、阿部が出場。伊藤、野々山は1回戦敗退。伊藤と阿部が2、3回戦を快勝。伊藤は4回戦5-8で力尽きた。阿部は8-1で快勝して8強。準々決勝で奥石(浦和麗明)に1-6、3-1で屈し、決勝進出はならなかった。

優勝は岡山学芸館の平田歩。

◆阿部(2年)の語「今大会、ミエの多かったネット際でのプレーを強化して来年こそ決勝に出たい」

女子複、啓成の阿部・安井組、野々山・加藤組ともに1回戦辛勝。2回戦もそろって突破したが、3回戦でもに敗れた。

沖縄尚学の我那覇真子・前田優歩組が高校日本1に輝いた。

# フェデラー全英8度目V



バウティスタ戦、失点にがっかりの錦織  
◆錦織の話は「攻めにくかった。第3セットでいい所が出始めていただけに悔しい。芝のシーズンは短く、調子を合わせるのが難しいが、来年また帰って来て、いいプレーをしたい」

## <日本選手の戦績>

- 男子単**
- 錦織 1回戦 チェキナート 62, 62, 60
  - 錦織 2回戦 スタコフスキー 64, 67, 61, 76
  - 錦織 3回戦 バウティスタ 46, 67, 63, 36
  - 杉田 1回戦 クライン 76, 63, 60
  - 杉田 2回戦 マナリノ 16, 75, 64, 67, 26
  - ダニエル 1回戦 ククシュキン 64, 46, 67, 26
- 女子単**
- 大坂 1回戦 トーモ 63, 76
  - 大坂 2回戦 ストリコバ 61, 06, 64
  - 大坂 3回戦 ビーナス 67, 46
  - 土居 1回戦 フリブケンズ 46, 36
  - 尾崎 1回戦 アレルトバ 67, 62, 36
  - 日比野 1回戦 キーズ 46, 26
  - 奈良 1回戦 アバンダ 26, 46

- 女子複**
- 大坂 1回戦 トーモ 63, 76
  - 大坂 2回戦 ストリコバ 61, 06, 64
  - 大坂 3回戦 ビーナス 67, 46
  - 土居 1回戦 フリブケンズ 46, 36
  - 尾崎 1回戦 アレルトバ 67, 62, 36
  - 日比野 1回戦 キーズ 46, 26
  - 奈良 1回戦 アバンダ 26, 46

**二宮組 決勝進出逃す**  
1回戦敗退=穂積・加藤組、大坂・張帥(中国)組、日比野・ロソルスカ(ポーランド)組、大前・ムーア(豪)組  
2回戦敗退=青山・楊(中国)組、土居・荘(台湾)組  
準決勝敗退=二宮(橋本総業)・ボラコバ(チェコ)組……<5面に詳報>

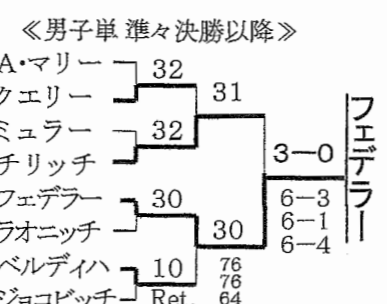
**混複**  
2回戦敗退=二宮・綿貫裕介組、穂積・ラジャ(インド)組

**土居ら4人 初戦敗退**  
57位の土居は88位ワリブケンズ(ベルギー)に、日比野は第1ラウンド・キーズに、奈良は予選上りのアバンダ(カナダ)にストレート負け。尾崎はアレルトバ(チェコ)に6-1、7-6、3-6で競り負けた。

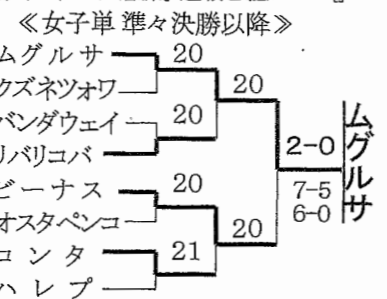
**女複はマカロワ・ベスナ組**  
女子複決勝はマカロワ・ベスナのロシアペアが倉(いせん)台湾)・ニコレスク(ルーマニア)組に6-0、6-0の「おたんこ」を食らわせて初優勝。

**錦織あゝ3回戦 バウティスタ**  
逆転できず  
第9シード・錦織は3回戦で過去4戦全勝のバウティスタとまで初対戦。4-6、6-7、6-3、3-1、6-1の1-3で敗退し、32強止まり。競った第1、第2セットを失い、2セットダウンの窮地。第3セットを取

**杉田 2回戦惜敗**  
前週アンタルヤでツアー初Vを遂げた杉田は、1回戦でWCのクライン(英)に3-0で快勝し4大会初金星。2回戦で前週決勝の相手マナリノ(仏)とトルセントの激闘。最



8度目Vを最年長で飾ったフェデラー  
◆フェデラーの話は「ここへ戻って来られて、このカップを抱けるとは感激。チーム、家族、ファンに感謝。連覇を狙いたい」



**芝の新女王、コートに座り込んで感涙**  
◆ガルビネ・ムグルサ=ベネズエラ生まれ・スペインの23歳。3歳からテニスを始め、2011年、プロ転向。14年にツアー初優勝。最高ランクは2位。182cm・73kg。

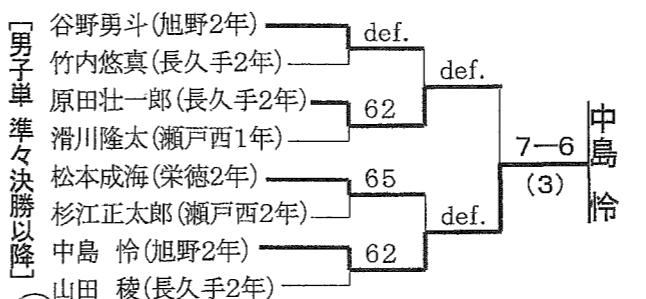
**最多 チリッチ下し4大会19度目**  
全英(7月16日まで)男子単はフェデラー(35歳・スイス)がチリッチ(28歳・クロアチア)に完勝し、5年ぶり単独最多の8度目Vで4大会19勝目を挙げる。錦織は3回戦で敗れた。女子はムグルサ(スペイン)がビーナス(米)に快勝して初優勝。女子複で二宮真琴・ボラコバ(チェコ)組が活躍、決勝進出は逃した。

**女子はムグルサ初 ビーナス**  
女子決勝は一昨年セリナに敗れて準Vの23歳・ムグルサと、最年長6度目Vを狙う37歳・ビーナス。ムグルサが第1セット終盤から9ゲームを連取し7-5、6-0。芝の

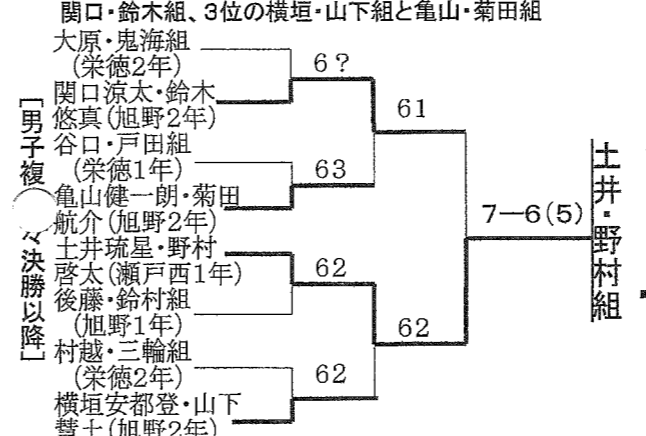
**大坂健闘3回戦 ビーナスに善戦**  
女子単で19歳の大器・大坂が3回戦進出の健闘。ビーナスと互角に渡り合った。



男子単(左から)優勝・中島、準優勝・原田、3位・松本と谷野



女子単(左から)優勝の土井・野村組、準優勝の関口・鈴木組、3位の横垣・山下組と亀山・菊田組

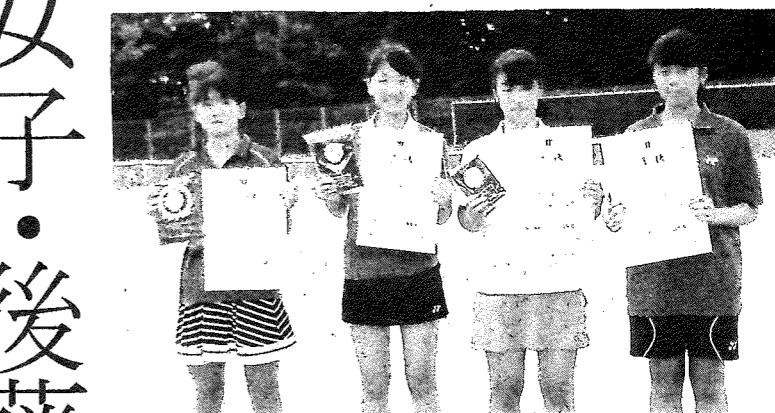


**女子複 準々決勝以降**  
加藤夕夏・山岡真緒(旭野2年) 62  
有馬・松原組(聖霊2年) 60  
稲垣心苑・吉川夏生(聖霊2年) 60  
夏山田・鈴木組(長久手2年) 60  
桑田光優・久富ゆめ(聖カピタ2年) 60  
内藤・小沢組(瀬戸西2年) 60  
水野由芽・長野伊万里(長久手2年) 60

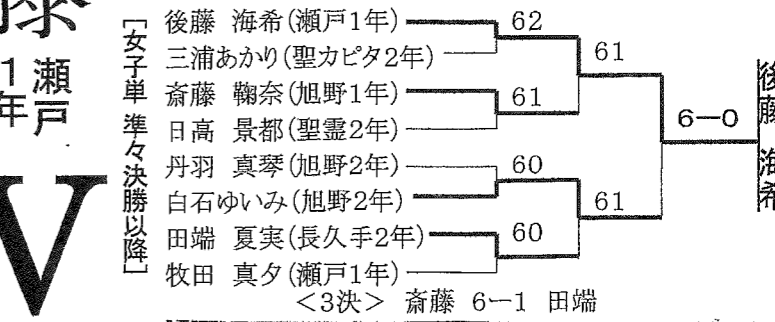
**瀬戸地方 高校新人戦**  
第7回瀬戸地方高校生新人大会は7月9日(木)・28(金)の両日、市民公園で開催。240人を超す1、2年生が参加。男子決勝は単複ともタイブレーク。単は旭野2年の中島怜が原田(長久手2年)に辛勝。複は瀬戸西1年の土井琉星・野村啓太組が関口・鈴木組(旭野2年)に競り勝つてV。女子単は下馬評の高瀬戸高1年・後藤海希が圧倒。複は聖霊2年の稲垣心苑・吉川夏生組が水野・長野組(長久手2年)を下して優勝。

## <高校新人戦 成績>

- 男子単 61人**  
優勝=中島 怜(旭野2年)  
準優勝=原田 壮一郎(長久手2年)  
第3位=松本 成海(栄徳2年) 谷野 勇斗(旭野2年)
- 男子複 42組**  
優勝=土井琉星・野村啓太組(瀬戸西1年)  
準優勝=関口涼太・鈴木悠真組(旭野2年)  
第3位=横垣安都登・山下慧土組(旭野2年) 亀山健一朗・菊田航介組(旭野2年)
- 女子単 29人**  
優勝=後藤 海希(瀬戸1年)  
準優勝=白石ゆいみ(旭野2年)  
第3位=斎藤鞠奈(旭野1年) 田端夏実(長久手2年)
- 女子複 34組**  
優勝=稲垣心苑・吉川夏生組(聖霊2年)  
準優勝=水野由芽・長野伊万里組(長久手2年)  
第3位=加藤夕夏・山岡真緒組(旭野2年) 桑田光優・久富ゆめ子組(聖カピタ2年)



女子単(左から)優勝の後藤、準優勝の白石、3位の斎藤と田端



女子複優勝の稲垣・吉川組(前左)、準優勝の水野・長野組(前右)、3位の加藤・山岡組(後左)と桑田・久富組(後右)

# 錦織「シテイ」 決勝進出逃す

## 女子複・青山組がV



錦織は米シテイOP(7月31日〜V500)の第2シードで2回戦登場。苦戦の連続ながら4強入りしたがアレクサンダー・ズベレフ(8位・独)の20歳・ミィシヤの弟)に3-6、4-6で敗れ決勝進出ならず。写真。初戦、58位・ヤング(米)に6-1、3、4-6、7-6。3回戦で過去1勝5敗と苦手の第1シード・デルポトロに6-4、7-1で競り勝ち8強。準々決勝は225位・ポール(米)に3-6、7-6、6-4で逆転辛勝したが、準決勝で第5シードのA・ズベレフに決勝進出を阻まれた。添田豪は1回戦でサントグレン(米)に敗退。女子単の尾崎里紗はエラニ(伊)に、奈良くるみは、ペトコビッチ(独)に、ともに1回戦惜敗。女子複第2シードの青山修子・ボラコバ(チエ)組が決勝でプシヤール・ステイブンス組に6-3、6-2で快勝して優勝。

# ロジャーズ杯 モンフェイスに初戦負け

錦織はカナダへ転戦。ロジャーズ杯(8月7日〜V1000)第5シードで2回戦から。初戦で過去3戦全勝の22位・モンフェイス(仏)に7-6、5-7、6-7で敗れた。第1セットのタイブレーを取り勝機は何度もあったが勝ち切れなかった。特に最終セットは

# W&S 4強ならず

錦織欠場の全米前哨戦マスターズ(ウエスタン&サザン)(8月14日〜シンシナティ)で8歳・杉田が8強の健闘。写真。1回戦で第1シードのソック(米)を7-5、6-4で倒すと、2回戦は強敵・ソウザ(ポルトガル)に3-6、7-6、6-1



1の逆転勝ちで16強。3回戦も32位・ハチャコフ(ロシア)・21歳を6-1、6-1、6-3と逆転。若手成長株に14本のサーブを浴びながらマスターズで初の8強入り。準々決勝で11位・デイトロフ(ブルガリア)に2-6、1-6で屈した。トップ10のうち3人のみのマスターズ。チャンスを生かして錦織の分まで頑張った。

『試合を重ねていきたい』  
杉田はゴフィンに惜敗  
46位・杉田は1回戦で13位第9シードのゴフィンに6-4、1-6、4-6の逆転負け。  
A・ズベレフ今季5勝目  
決勝はアレクサンダー・ズベレフ

# 錦織 今季欠場

錦織は右手首の腱断裂のため、今季残りの全試合を欠場する。手術はしない。「ウエスタン&サザン」を欠場、全米準備と思われたが、3月・マイアミ大会で痛めた右手首が完治しなかったらしい。ジョコビッチは右ひじ、バグリシカは左ひざ故障で今季欠場。マリノは臀部痛で全米欠場。1位をナダルに渡した。上位陣の離脱が相次ぐ。



# 伊達 本日に引退

46歳・伊達公子が引退を表明。9月11日からの日本女子オープンが最後の大会となる。京都府出身。88年・高校3冠。翌年プロに。96年フエド杯(有明)でクラフを破る。世界最高位4位。26歳で引退、37歳で復帰。ツアー8勝。最近はずいぶん、肩の故障に悩んでいた。

# 菊地 高校3冠だ



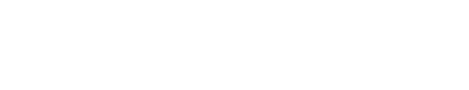
高校総体男子で3冠を達成した菊地裕太(兵庫・相生学院3年)。昨年は複を制しながら

高校総体男子で3冠を達成した菊地裕太(兵庫・相生学院3年)。昨年は複を制しながら

戦で、ゲ・オラルのルーミア・ペアに敗れた。  
日比野2勝目逃す  
女子・江西省OP  
女子の江西省OP(7月末・中国)単決勝で92位・日比野菜穂(宮出身ルルル)は32位・彭帥(ほうすい・中国)に3-6、2-6で敗れ、ツアー2勝目を逃した。加藤未唯と組んだ複は準々決勝でタイ組に快勝したが、準決勝でロシア・豪ペアに敗れた。

第1シードのプリスコバチキに2-6、7-6からの最終セット、0-1となったところで棄権した。心配されていた腹筋痛が再発したという。  
女子複の穂積絵莉・加藤未唯組と青山修子・エラニ(クロアチア)組はともに1回戦で敗退。

# 全米速報 大坂が金星 ケルバー倒す



全米女子単1回戦で大坂なおみが前年覇者で第6シードのケルバーを強打で圧倒。6-3、6-1の完勝。奈良とともに3回戦進出。日比野、尾崎も初戦突破。男子単のダニエルがナダルから1セット取った。杉田も2回戦無念の逆転負け(全米結果は次号詳報)。

単は3回戦敗退。リードされ、焦って力を出し切れなかった苦い経験を糧に精神面を鍛えた。今回は田口(大分舞鶴)に第1セット0-3と先行されたが慌てなかった。いつも通りラリー・1点づつプレーに集中し、一気に逆転し6-3。成長のあかしを見せた。第2セットも6-1と圧倒。どうしても勝ちたかったので、めっちゃうれし〜と喜んだ高校王者の目はすくなく、世界・東京五輪に向けていた。

STKニュース  
瀬戸市テニス協会業務部長発行の協会報。原則隔月。昭和50年(1975年)創刊。98年から定期刊行。第10号まで梶田俊幸・元理事が制作。近藤峰夫が編集、発送。約250部、協会員に送付。  
次号は秋季大会後

○：錦織のいない全米、第2週入り。カナダでの「U18野球」では清宮、中村らが世界1を狙う。  
○：旭戦、暑かった。瀬戸3連勝をめざしたが屈辱の大敗。来年は旭晴丘。精鋭で倍返しだ。  
○：藤井四段に続き、また1人瀬戸に怪童出現。長根小1年のゴルフアー・加藤金次郎くんを紹介しました。(会報担当 近藤)